

山名	面河溪		山行名	市民春山登山		
ルート	面河溪博物館⇒亀腹登山口⇒展望台⇒パノラマ台⇒亀腹下山口⇒面河溪博物館前					
山行日	2019年 5月 25日(土)		天候	晴		
参加者	リーダー 若林 スタッフ 下坂 和田 竹原 (男性) 22名 (6名) (女性) 19名 (5名) 41名(11名) ()内は一般参加者					
ルート概略図 	地名		時:分	地名	時:分	
	面河溪博物館	着	12:50	国民 宿舎	着	17:20
		発	13:00			
	亀腹登山口	発	13:50			
		展望台	発	14:25		
	亀腹下山口	発	15:45			
		面河溪博物館	着	16:10		
	面河溪博物館	発	16:25			
	6時00分 am 新田辺駅を予定通り出発 一番心配事であった本日の天候 参加者各位ご精進のお陰で快晴の日を迎え目的地で有る面河溪に向かう。八幡東から高速道路に淡路 SA 津田松原 SA 経由して石鎚山 SA にて昼食タイム 面河溪谷には 13:00過ぎ到着 日本一の清流仁淀川源流だけ有り新緑と仁淀川ブルーのコントラストが鮮やかで我々41名を歓迎してくれた。 約3時間の散策コースでは有ったが長時間バス移動の為かエコノミー症候群解消対策と本番のトレーニングには手ごろな散策コースで有った。散策後本日宿泊地 国民宿舎 石鎚 に向かう。本来2~300m手前の伊予の国(1,492m)駐車場の予定もへいあんバス様のご厚意で57名乗りの大型バスを宿舎に横付け頂き助かった。 明日26日早朝の出発に備え20時過ぎには各位床に就いた。 ヒヤリハット無し					

山名	石鎚山	山行名	市民春山登山
ルート	土小屋(宿泊地)⇒ベンチ2⇒分岐点⇒弥山⇒天狗岳經由弥山⇒成就社		
山行日	2019年 5月 26日(日)	天候	晴
参加者	リーダー 若林 スタッフ 下坂 和田 竹原 (男性) 22名 (6名) (女性) 19名 (5名) 41名(11名) ()内は一般参加者		

ルート概略図 	地名	時:分	地名	時:分
	宿舎前	発 6:03	ロープウェイ	発 14:10
			着 6:55	
	第二ベンチ	発 7:20	京屋	着 14:30
	分岐点	着 8:20		
	弥山 天狗岳	着 9:30 発 11:05		
	成就社 本堂	13:25		

5月26日(日) 6:03 am 宿泊場所の国民宿舎 石鎚 の前が登山口であり予定の時刻に全員天気の中スタート 参加者全員順調に分岐点まで行き分岐点にて鎖場コースと迂回コースに班編成を行いそれぞれのコースから弥山に向かう。全員弥山9時30分到着後全員で集合写真 数名残し天狗岳に向かう スリリングなコースに緊張感を感じながら石鎚山の最高峰(1982m)満喫
成就社本堂に13時25分到着 20分程歩きロープウェイにて下山 ロープウェイ41名全員乗車 我が山友会の為臨時便を出して頂き10分早く昼食場所に到着
食事組 風呂組に分かれくつろぐ時間を確保
鎖場 天狗岳決して楽なコースでは無いが全員無難にこなされて改めて山友会のパワーを感じ得た次第の市民登山であった。

【反省点】

- ① この時期登山コースには多量の虫が発生 此処に防虫対策も対策が徹底されておらず次回の反省材料に成った。
- ② 当初案内の到着時間より90分遅れ帰京時間が22時になり到着時間に対して計画案の甘さあり。

ヒヤリハット無し

市民春山登山 感想

<一般参加者>

坏昭子

皆様お疲れさまでした。大山に続いて今回も参加させていただきました。トレーニング登山は、一般参加の者には、とっても意味あるものと思います。当日心の不安もすくなく楽しくその輪の中に入ることが出来て良いと思います。特に今回は、ワイケンのトレーニングが強く生きた登山に思えました。達成感有りすぎの山旅でした。

大形英夫

参加されている方々のお姿を見せて頂き、すごく今後の参考になりました。みなさまハツラツとされて素晴らしいです。ありがとうございました。

岡百合

とても楽しく、主人と二人では経験できなかった山(岩)登りにもチャレンジできて最高でした。ラインで報告した友人達からもうらやましがられました。記念写真以外のスナップ写真、送料、DPE 代お支払しますので、送ってもらえるとうれしいのですが…。無理なら大丈夫です。ホームページでも見ますので。

堤卓雄

京田辺に登山が好きな方がこんなにもたくさんいるんだということを今回の市民登山を通じて知りました。そしていろんな山情報を教えてもらって本当に良かったです。ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

山口寿子

大変良かった。大満足でした。

山口寿

山友会の皆様の温かい御助言をいただき無事目的ができたことに感謝感謝です。

山本典世

色々な経験が出来楽しく過ごすことが出来ました。ありがとうございました。次回も楽しみにしています！

吉野美智代

今回で個人で行ったのと山友会の会員の時と一般になって 3 回行きましたけどお天気に恵まれて良かったと思います。



倉光展子

迷っていた鎖場、思いの外苦勞なく登れ、私にとって大変有意義な経験になりました。この点についてはできれば後程作文を書きたいと思っています。

下坂元人

今回、SLをつとめさせていただきました。トレーニングの内容を考えたり、当日の40人の集団の先導をさせていただいたり初めての経験を色々させていただきました。今後、さらなる研鑽を積みたいと思いました。みなさま、ありがとうございました。



竹原絹栄

面河溪は短時間で四国の秘境を味わえて楽しめました。石鎚山は細やかなタイムスケジュールでスリルのある岩場を天狗岳の頂上まで極められて大変うれしく思いました。山の経験の少ない私ですが毎年一つずつ体験させて頂きありがとうございます。

役員の皆さまお世話になり、感謝の気持ちでいっぱいです。2日間、大いに楽しませて頂きました。

竹原順治

会員、一般の両参加者がうちとけあいよかった。新入会員の増加につながれば理想的。

田中正和

鎖場や天狗など、Y懸で学んだことが実践で生かされたことが、自分にとって最もよかったことと思います。今回の企画がなかったら、このような体験をすることも、石鎚山に登頂することも一生なかったと思います。本当にありがとうございました。

玉井美智子

何回か行きたい山に石鎚山を書きましたが、やっと実現出来て無理かと思ったクサリ場に登れて本当に良かったです。2日間天気に恵まれ最高！！春山担当の皆様本当にご苦勞様でした。

土岐吉正

天気もよくなかなかこんな好条件ない中石鎚山の鎖場という貴重な体験をさせてもらいありがとうございました。スキルは少し上達したと思います。また企画から当日までの設定をいただいた役員の方、たいへんごくろう様でした。



徳田幸子

申し分ない好天気に恵まれた登山。25年前に例会で参加した時は紅葉に染まっていましたが今回は青葉の中を歩くことができました。皆様ありがとうございました。

中田繁男

一般参加者の体力度がバラバラですから、一様の対応できない場合があり、今回のように別行動出来るコースがあるのは良かった。

西川洋

経験した事のない急斜面と鎖場は最高でした。今後も今回の様な楽しいコースに挑戦できる事を願います。皆様有難うございました。



平尾繁和

天気に恵まれ素敵な市民登山でした。1日目の面河溪、2日目石鎚山とも自然豊かな山歩きを楽しめました。新緑の溪谷の美しさ、石鎚山・天狗岳周辺のアケボノツツジに堪能しました。若林さんの思いがみのり、天狗岳まで行けてよかったです。一般参加の班の人も「行けてよかったです」と喜んでおられました。若林さん、下坂さん、和田さん、竹原さん本当にご苦労様でした。おかげでケガなく無事市民登山ができました。参加のみなさんも楽しい山行ありがとうございました。（昔息子と来て天候が悪く断念した山でリベンジできました。）

広瀬秀憲

久しぶりの山の行事に参加して体力の低下を痛感しています。皆様のごめいわくにならないようにいたします。



藤村敏幸

行程・宿泊所・歩行難度も良く考えられ、全員無事に下山でき感謝します。四国の最高峰を短時間に登り鎖場もあり、又三角形の天狗岳までも往復し多くの写真もとることができました。春山担当者の方有り難うございました。

森本竜二

百名山登頂しくさり場も経験でき満足した。



令和元年5月26日 市民春山登山 石鎚山頂上

山下隆

10年振りの場所でしたが、同じように登れたのもうれしかったし独特な山谷・ブナの大木等々記憶はとぎれとぎれなるも新鮮な山に感じました。世話役さんお世話になりありがとうございました。

山下剛史

幹事の皆様一年間本当にお疲れ様でした。天候にも恵まれ、安全登山ができて良かったです。鎖場や天狗岳への登頂ではお互い声をかけあい、全員無事に下山できてとても楽しい山行でした。

吉澤珠美

膝に痛みがあるので恐る恐る歩かせていただきました。不安だった鎖場も色々と指示いただいたお陰様で登ることが出来ました。石鎚桜やアケボノツツジ、山芍薬も見て満足しました。役員の皆さま、お世話になりましたありがとうございました。

若林憲治

皆さんが無事帰宅できた事が何よりでした。



令和元年5月26日 市民春山登山 石鎚山 ロープウェイ駅前

今年の三月山友会に再入会を許され、初めての遠征山行に、石槌山を選んだ。ここは修験の山で、鎖場がある。その鎖場を登るか、迂回の登山道にするか、迷いに迷った。これまでだと、鎖場など私の選択肢にはなかった。今回何故か気になり、すんなりあきらめるには私の野次馬根性が騒ぐ。「やめろ、やめろ」と、我が夫と私の臆病神と弱い理性とが引き留めた。幸い(?)夫は同行しなかったので、一つの重しからは解放され、迷いながら鎖場に決断した。

当日鎖場のとっつきに立って、なんだ、これだったら登れる、と思った。宙に浮いた鎖ではなく、大きな鎖はそれほど急でない岩場に1m足らずの間隔でしっかり備え付けてあった。最初3, 4歩は山友会の男性たちの、足の置き場の指導に従っていたが、気が付くと前も後ろも白装束の行者さん。「この鎖場で本当に人が死んでいるのか」「本当に毎年死んでいるんやで」・・・恐ろしい会話が聞こえてきたが、気にせず、真剣に進んでいく。「奥さん、なかなか上手に登りますね」に、「えっ、それって私のこと?」、突然声をかけられて面食らう。‘おばあちゃん’でなく、‘奥さん’でよかった、と一人ほくそ笑む。ぐっと踏ん張って、一登り一登り、進むにつれて面白くなっていく。私って、こんなの好きだったんだ。しかし、やっぱり老体にはきつい労働なのか、息が切れる。汗もプーと噴き出る。しばらく進んでは一休止を繰り返す。高度はそれほどでもなかったのに、あっという間に到着する。山友会のOさんの優しい顔が上から覗き込んで出迎えてくれた。

あんなにおじていたことが、あっけなく終わった。子供の頃から私だけできないことが数々あった。岩淵への飛び込み、丘の上からの長い滑り台、ビルの屋上から斜降式救助袋で滑り降りる避難訓練・・・どうしてもできなかった。数々の屈辱、劣等感、苦い思いがあった。今回なぜやれたのか、年の功かと自問しながらも、何となく気分が軽くなった。少し自信も挽回できた。

天に向かって「やったあ、楽勝！」と、あこがれていたワルガキ言葉で叫んでみた。おおげさかなあ。
—— はい、わかっていますよ。意気地なしほど、終わった後で、「大したことはなかった」と豪語するのは世の習いなんですよ。

少ない余生、過度な不安にかられ、呪縛の無駄な時間を過ごすのではなく、いろいろなことをさりげなくやっと思いこうと思った。肉体的にも精神的にも得るものが大きかった山行だった。

行き届いたお世話をしてくださった係の皆様本当にお疲れさまでした。
同行の皆様ありがとうございました。



令和元年 市民春山石鎚山登山のアンケート結果

コースの難易度		
ちょうど良かった		30名
きつかった		7名
無回答		4名

登山コースだけではなくバスの移動時間が長かった。

価格に関して		
安い		16名
適当		25名
無回答		0名

会員の対応		
良かった		18名
普通		7名
悪い	天狗外のコースへ	2名
無回答		14名

一般参加者の入会に関して		
検討中		7名

市民登山の実施時期		
春の新緑の頃		27名
秋の紅葉の頃		9名
夏山		5名

行きたい山		
北アルプス		4名
上高地		4名
熊野古道		7名
八ヶ岳		9名
尾瀬		1名
立山		1名
妙高		3名
南アルプス		7名
中央アルプス		4名
白馬岳		1名
中国地方		5名
剣山		2名
白神		1名
九州の山		2名
乗鞍		1名
白山		2名
氷ノ山		2名
芦生の森		1名

複数の回答有り